

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 日本ピグメント株式会社

コード番号 4119 URL <http://www.pigment.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 浅羽 幸夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役(総務部経理部担当) (氏名) 上野 章

TEL 03-3258-1412

四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	11,402		356		370		152	
20年3月期第1四半期	10,954	6.5	390	31.8	405	47.5	242	55.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	9.67	
20年3月期第1四半期	15.42	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	26,979	9,863	34.6	593.73
20年3月期	28,084	10,233	34.3	613.09

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 9,336百万円 20年3月期 9,641百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期				11.00	11.00
21年3月期				11.00	11.00
21年3月期(予想)				11.00	11.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	23,000		730		700		450		28.61
通期	47,500	1.8	1,720	3.9	1,650	5.4	910	0.2	57.86

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 社(社名) 除外 社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
〔(注)詳細は、3ページ[定性的情報・財務諸表等]4.その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
会計基準等の改正に伴う変更 有
以外の変更 無
〔(注)詳細は、3ページ[定性的情報・財務諸表等]4.その他をご覧ください。〕

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第1四半期	15,758,994株	20年3月期	15,758,994株
期末自己株式数	21年3月期第1四半期	33,926株	20年3月期	33,570株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第1四半期	15,725,068株	20年3月期第1四半期	15,728,496株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、原油などエネルギー・原材料価格の世界的高騰が続き、企業の収益環境が厳しさを増すなかで、企業心理の悪化が景気の足取りを弱める展開となっております。

当業界におきましては、主要ユーザーである自動車業界がガソリン価格の高騰等による影響もあって米国市場を中心に調整局面を迎えていることから、今後の需要の伸び悩み等、環境の悪化が懸念される状況です。

こうしたなか当社グループでは、引き続き拡販に努めるとともにコスト削減、生産性向上に取り組んでまいりましたが、原材料価格の更なる高騰が続くなか収益面では大変厳しい状況が続いております。このような結果、当第1四半期連結会計期間の当社グループの売上高は11,402百万円となり、経常利益は370百万円、四半期純利益は152百万円となりました。

(樹脂コンパウンド部門)

当部門においては、主要ユーザーの海外展開に伴う国内需要の伸び悩みが続いており、価格面では引き続き厳しい環境にあります。こうしたなか、国内においては、自動車関連および情報機器関連が引き続き堅調に推移しました。海外では全体的に販売の伸びが鈍化傾向にあるなか、マレーシア、インドネシアは引き続き好調を維持しております。このような結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は、9,204百万円となりました。

(樹脂用着色剤部門)

当部門においては、自動車関連、家電向け、日用品および化粧品向けは概ね堅調でしたが、情報機器関連が当初の予想を大きく下回る結果となりました。また、原材料価格の高騰が続くなか、収益面では厳しい状況となりました。このような結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は、1,443百万円となりました。

(加工カラー部門)

当部門は、既に市場自体が成熟しており、今後の高い成長が望めなくなっております。こうしたなか、自動車関連向けおよび一部輸出向けシーリング材が堅調に推移したものの、建材関係向けの販売不振などにより、引き続き厳しい事業環境となっております。また、原料価格の高騰も大きく収益面を圧迫しております。このような結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は、711百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前期末と比べ1,105百万円減少して26,979百万円となりました。これは、主として現金及び預金の減少209百万円、受取手形及び売掛金の減少668百万円です。

負債は、前期末と比べ735百万円減少して17,116百万円となりました。これは、主として支払手形及び買掛金の減少708百万円や借入金など有利子負債の減少118百万円です。

純資産は、前期末と比べ370百万円減少して9,863百万円となりました。これは、主として為替換算調整勘定の減少336百万円です。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間は、当初の計画通り推移しており、平成20年5月16日発表の通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒引当率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。減価償却の方法として定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の算定に関しては、加味する加減算項目等を重要なものに限定する方法によっております。繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(会計基準等の改正に伴う変更)

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ81,229千円減少しております。

5.【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位:千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年 6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年 3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,919,804	2,128,992
受取手形及び売掛金	7,915,744	8,583,831
製品	1,772,664	1,918,569
原材料	1,548,445	1,685,453
貯蔵品	41,714	31,292
その他	737,816	375,211
貸倒引当金	6,946	6,904
流動資産合計	13,929,244	14,716,446
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,078,116	4,274,804
土地	3,517,567	3,530,615
その他	2,073,292	2,044,701
有形固定資産合計	9,668,976	9,850,121
無形固定資産	44,972	47,169
投資その他の資産		
投資有価証券	2,938,809	3,069,532
その他	479,011	485,419
貸倒引当金	81,642	83,855
投資その他の資産合計	3,336,178	3,471,097
固定資産合計	13,050,127	13,368,387
資産合計	26,979,371	28,084,834

(単位:千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,826,532	7,565,407
短期借入金	4,169,532	4,002,866
未払法人税等	373,141	301,587
賞与引当金	436,905	266,385
その他	1,273,100	1,364,458
流動負債合計	13,079,212	13,500,705
固定負債		
社債	294,880	337,440
長期借入金	2,734,164	3,019,706
繰延税金負債	834,183	825,895
役員退職慰労引当金	173,729	167,471
固定負債合計	4,036,956	4,350,512
負債合計	17,116,168	17,851,218
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,481,159	1,481,159
資本剰余金	1,047,779	1,047,779
利益剰余金	6,781,852	6,815,062
自己株式	12,255	12,158
株主資本合計	9,298,536	9,331,843
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	619,227	554,434
為替換算調整勘定	581,286	245,060
評価・換算差額等合計	37,940	309,373
少数株主持分	526,725	592,399
純資産合計	9,863,203	10,233,616
負債純資産合計	26,979,371	28,084,834

(2)【四半期連結損益計算書】

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	11,402,927
売上原価	10,312,529
売上総利益	1,090,397
販売費及び一般管理費	
人件費	276,485
賞与引当金繰入額	42,464
退職給付費用	10,980
役員退職慰労引当金繰入額	6,258
その他	397,835
販売費及び一般管理費合計	734,023
営業利益	356,374
営業外収益	
受取利息	1,185
受取配当金	27,826
持分法による投資利益	18,617
スクラップ売却代金	10,833
その他	10,552
営業外収益合計	69,014
営業外費用	
支払利息	38,742
その他	16,357
営業外費用合計	55,100
経常利益	370,288
特別利益	
固定資産売却益	3,272
貸倒引当金戻入額	2,171
特別利益合計	5,443
特別損失	
固定資産除売却損	2,186
投資有価証券評価損	50,442
関係会社株式売却損	34,110
特別損失合計	86,740
税金等調整前四半期純利益	288,992
法人税、住民税及び事業税	246,925
法人税等調整額	108,094
法人税等合計	138,830
少数株主利益	1,970
四半期純利益	152,132

(3) [四半期連結キャッシュ・フロー計算書]

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	288,992
減価償却費	250,319
貸倒引当金の増減額(は減少)	2,171
退職給付引当金の増減額(は減少)	16,752
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	6,258
賞与引当金の増減額(は減少)	170,520
受取利息及び受取配当金	29,011
支払利息	38,742
関係会社株式売却損益(は益)	34,110
投資有価証券評価損益(は益)	50,442
持分法による投資損益(は益)	18,617
有形固定資産売却損益(は益)	1,085
売上債権の増減額(は増加)	495,353
たな卸資産の増減額(は増加)	142,490
仕入債務の増減額(は減少)	559,687
未払消費税等の増減額(は減少)	2,124
その他	429,630
小計	455,902
利息及び配当金の受取額	29,011
利息の支払額	37,984
法人税等の支払額	227,041
営業活動によるキャッシュ・フロー	219,888
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	5,000
投資有価証券の取得による支出	2,037
関係会社株式の売却による収入	54,751
有形固定資産の取得による支出	206,558
有形固定資産の売却による収入	3,506
無形固定資産の取得による支出	9,912
貸付けによる支出	565
貸付金の回収による収入	4,276
その他	10,846
投資活動によるキャッシュ・フロー	172,383
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	387,501
短期借入金の返済による支出	90,000
長期借入れによる収入	100,000
長期借入金の返済による支出	479,742
自己株式の取得による支出	96
配当金の支払額	172,979
財務活動によるキャッシュ・フロー	255,317
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,374
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	214,187
現金及び現金同等物の期首残高	1,495,292
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,281,104

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結会計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
該当事項ありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結会計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
該当事項ありません。

「参考資料」

前第1四半期にかかる財務諸表等

(1) (要約)四半期連結損益計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)
	金額
売上高	10,954,308
売上原価	9,777,005
売上総利益	1,177,303
販売費及び一般管理費	786,593
営業利益	390,709
営業外収益	79,847
営業外費用	65,104
経常利益	405,452
特別利益	-
特別損失	17,961
税金等調整前四半期純利益	387,491
法人税、住民税及び事業税	188,202
法人税等調整額	44,271
少数株主損益	(減) 974
四半期純利益	242,586